



令和6年度岩手県立大学看護実践研究センター事業

現地および遠隔会議システムを利用した がん看護研修事業

責任者:細川 舞 共同者:遠藤 良仁, 及川 紳代

活動目的

ルーラル地域の看護師を対象に、遠隔会議システムを使用したがん看護研修を開催し、システムの有効性の評価とがん看護の質向上を図ることを目的とする。また、県内の活用できるリソースと臨床現場の看護職と連携するためのシステム構築の示唆を得る。

活動内容

1.研修開催方法

岩手県内の医療機関、訪問看護ステーションに開催案内を送付した。今年度は、現地開催のみとし、盛岡近隣だけではなく県北、沿岸地域での開催も実施した。関心や希望に応じて参加できるように各回の申込みとし、現地で演習も計画した研修会とした。

2.研修テーマ・研修方法・申込み実績

2024年度は、現地開催を6回の研修会を実施した(表)。

日時/参加人数/場所	テーマと講師(*専門看護師,**認定看護師)
第1回 5月11日(土) 22名/宮古市	基礎から学ぶ褥瘡ケア 毛利明子*,**, 平賀深友紀**(盛岡赤十字病院)
第2回 6月8日(土) 6名/八幡平市	がん患者さんを守る基本のスキンケア 毛利明子*,**, 平賀深友紀**(盛岡赤十字病院)
第3回 6月29日(土) 31名/盛岡市	がん患者さんを守る褥瘡ケアと感染管理 毛利明子*,**, 吉宮恵**(盛岡赤十字病院)
第4回 7月28日(日) 25名/矢巾町	がん患者さんとナースのためのアロマセラピー 伊藤奈央*(岩手医科大学看護学部)
第5回 10月20日(日) 1名/盛岡市	がん看護研究のための文献検索 伊藤奈央*(岩手医科大学看護学部), 細川舞*(岩手県立大学看護学部)
第6回 12月14日(土) 10名/盛岡市	がん患者さんをサポートするアピアランスケア 赤坂悠江**(盛岡赤十字病院), 星川奈津子(株式会社スヴェンソン)

活動成果

今年度はのべ95名の申込みがあり、研修後のアンケートにより満足度については、全般的に高評価が得られた。「演習で褥瘡モデルがあったのがわかりやすかった」(第1回)、「講義が、凄く解りやすく良かった」(第2回)、「知識は、あっても実際にやってみると、もっと、しっかり時間をかけて手洗いをしなければならないことがわかった」(第3回)、「補完代替療法に興味があり、そのうちの一つであるアロマについて、知ることができた」(第4回)、「先生とゆったり会話しながら参加出来た」(第5回)、「実際たくさんのウィッグを手にとって体験することで自分に合うもの、合わないものがあることを知った」(第6回)などの意見が寄せられた。また、研修会をきっかけに参加者が講師と連携することができ、講師が参加者の施設へ出向いて講義をするなど、リソースを活用するためのネットワーク構築につながった。



研修会の様子(写真左:褥瘡ケアと感染管理, 中:アロマケア, 右:アピアランスケア)